

第4回YU-SDGsカフェ

女性・若手研究者 研究交流会 ～SDGsの観点からの研究交流～

日時:12月16日(木):午後3:30より
形式:zoomウェビナー形式
(視聴のみの参加も可)



山形大学
Yamagata University



山形大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

山形大学 YU-SDGsタスクフォース
山形大学男女共同参画推進室
山形大学COI





「女性・若手研究者 研究交流会」について

- 山形大学では、2015年度から2021年度まで、文部科学省の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の事業を実施しました。その取組の一つとして、2020年度から男女共同参画推進室と山形大学COIが連携し、女性・若手研究者の活躍促進を目指して、「SDGs × COI若手・女性研究者交流会～SDGsの観点からの研究交流～」を開催しました。
- 学内外の様々な分野の研究者が参加し、「持続可能な開発目標(SDGs)」の観点で議論し、共同研究・社会実装に発展しています。今後も、山形大学では女性研究者の研究力向上の支援制度に位置付け、充実を図っていく方針です。



そこで、本セッションでは...

今年度は、これまでの取組を発展させるために、YU-SDGsと連携し、「YU-SDGsカフェ」として開催します。

山形大学の女性・若手研究者が、SDGsの観点を踏まえた研究発表とパネルディスカッションを行い、学内外の皆さまと研究交流を図る機会としたい。また、今後の研究者同士の研究連携や社会連携へ発展するきっかけとして位置付けたい。



ご登壇のみなさんのご紹介！

ご登壇の先生



鍋島 朋之

山形大学学術研究院准教授
(農学部)

専門は、野菜園芸学
研究活動の目標(SDGs)は「2.
飢餓をゼロに」を目指している。



三原 法子

山形大学学術研究院講師
(地域教育文化学部)

専門は、臨床栄養、給食管理
研究活動のSDGs目標は、「3.
すべての人に健康と福祉を」、
「9.産業と技術革新の基盤を作
ろう」を目指している



伊関 千書

山形大学学術研究院講師
(医学部内科学第三講座)

専門は、高次脳機能(行動神経
学・神経心理学)
研究活動の目標は、ヒトは脳を
使ってどのように知的活動をして
いるかを解明することを目指し
ている。



土屋 みなみ

山形大学工学部研究支援者、NPO法人
AYINA(アイーナ)

持論は「東北とアフリカは自然、食
べ物、心の豊かさなどが共通して
いる」。両者のポジティブな面を発
信し、気軽な地方創生・多文化共
生の機会を創出することを目指す。
5大陸28カ国に上陸経験あり。

発表テーマとパネルディスカッション

1. 発表テーマ(各15分)

発表者氏名	所属	発表テーマ
鍋島 朋之	山形大学学術研究院 准教授 (農学部)	「干渉効果を利用した植物防護への取り組み」
三原 法子	山形大学学術研究院 講師 (地域教育文化学部)	「栄養指導における『見える化』を体感できるIoT食器の研究開発」
伊関 千書	山形大学学術研究院 講師 (医学部内科学第三講座)	「シート型ベッドセンサによる睡眠深度計測から神経疾患患者の潜在的な睡眠障害を探る」
土屋 みなみ	山形大学工学部研究支援者 (NPO法人AYINA)	「農業 × ICT in ケニア事例紹介」

2. パネルディスカッション(25分)

「SDGsと研究との関わり方や貢献について」

ファシリテータ: 原田知親

ファシリテーター



原田 知親

山形大学学術研究院 助教
(工学部、山形大学COI若手連携)

専門は、極低電力知能情報処理集積回路、IoT/ICTデバイス・システム研究の傍ら、自身の研究連携での苦労した経験から、学内外の研究交流や研究連携と広報活動の重要性を認識し、現在活動中。